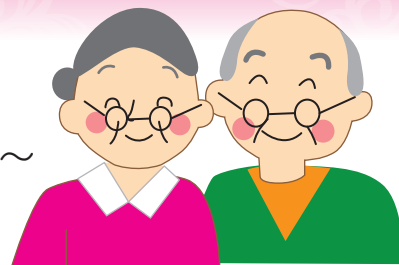


お口から全身の健康を 口腔ケアの 必要性と可能性

～口腔ケアでいきいきとした
生活を実現しましょう～



口腔ケアとは

口腔清掃，歯石の除去，義歯の調整・修理・手入れ，簡単な治療などにより口腔の疾病予防・機能回復，健康の保持増進，さらにQOL（生活の質）の向上を目指した技術です。

口腔ケアは、虫歯や歯周病、口臭の予防だけでなく、生活にリズムを作り、食べる事や話すことをサポートして、QOL（生活の質）を向上させるという目的もあります。
自分のお口で「美味しく食べる」事は大きな楽しみであり生きる意欲にもつながるのです。



口腔ケアの必要性

- 嚥下障害とは？…老化による口の機能の低下などによって起こりやすく、水や食べ物がうまく飲み込めなくなり、食道ではなく気管や肺の方へ入ってしまうようになることを「嚥下障害」といいます。嚥下障害になると、栄養が十分に摂取できなくなり、栄養失調や「誤嚥性肺炎」などの高齢者の生命をおびやかす病気にかかたりします。
- 口の中の細菌が「誤嚥性肺炎」を引き起こします。口の中の細菌が唾液と混ざって、知らないうちに気管から肺に入ることで起こります。
- 「歯周病」が全身に悪影響を及ぼします。歯周病は、歯を支える歯周組織が細菌に侵されて壊れていく病気です。歯周病の人は虚血性心疾患や脳梗塞を起こす確率が高いという説があります。また、よく噛めなくなること胃に負担がかかり、栄養状態も悪くなります。

QOL（生活の質）を向上させる！

活動が制限されている要介護人の場合、口から食べる、味わうという機能は、健常者の場合よりもそのQOLにおいて大きな割合を占めます。口腔ケアの充実により、口から食べる、おいしく食べることがすべての要介護者のQOLの向上、ひいては自立に寄与することになると考えます。

口腔ケアの可能性

口腔ケアで抵抗力アップ！

唾液には、細菌やウイルスを弱らせる抗菌物質が含まれています。

口腔ケアで誤嚥性肺炎を予防する！

介護施設等で専門的口腔ケアをする人としらない人に分けて2年間の追跡調査を行った結果、口腔ケアを行った人はしなかった人に比べて、肺炎にかかった人数、死亡者数が明らかに低いと報告されています。しかも期間が長くなればなるほど発症率の差は明確になりました。

噛むことが老化（痴呆）防止になる！

噛むことは脳への血流を増やし、脳の働きを活性化します。

Check! 費用負担は介護保険で！

口腔ケアは介護保険法上の「居宅療養管理指導」に該当します。その為、費用は介護保険で負担できます。（1割分）

Check! プロフェッショナルケア！

口腔ケアは、歯科医師と国家資格である「歯科衛生士」によるプロフェッショナルケアです。その技術介護スタッフとご家族と共にチームで行っていきます。